

超える、 越えてゆく。

高志SSH

平成28年度 SSH活動報告

福井県立高志高等学校

<http://www.koshi-h.ed.jp>

○「SSH講演会」 平成29年2月15日(水)

○SSH講演会 「自然免疫の最近の考え方」

大阪大学WPI免疫学フロンティア研究センター 拠点長 審良 静男 氏

大阪大学WPI免疫学フロンティア研究センター拠点長の審良静男先生をお招きして御講演をいただきました。

審良先生は、単純に何でも「食べる」だけの原始的な免疫機構とされて、研究者の関心も薄かった「自然免疫」に注目して研究し、自然免疫が病原体を見分けるセンサーを持ち、獲得免疫に関わる細胞をコントロールさえしている高度で重要な免疫機構であることを解明して、免疫学の常識を覆した、免疫学研究の第一人者の先生です。



講演では、免疫学の進展の概説や免疫学の最近の研究成果、現在取り組んでおられる最先端の研究まで、「ホンモノ」の写真や動画なども交えわかりやすくお話してくださいました。

講演後の質疑では、高志高生はもちろん、高志中学校の生徒からも質問が相次ぎました。免疫研究に関する内容から、先生の幼少期のことまで幅広く質問が出ましたが、一つ一つに対して、ユーモアも交えながら大変示唆に富んだお返事を頂きました。



《講演後の感想から》

○高校生

自分の体の中で、このような高度で複雑な現象が起こっていることが、鮮やかにイメージでき、免疫機構のすばらしさと感じました。

○高校生

生物・化学・物理はもとより、情報工学まで、幅広い分野の研究者が協力して研究を進めているということで、大変素晴らしいと感じました。

○中学生

医学的な研究は、動物愛護との関わりなど、色々な面で複雑でたいへんそうだけでも、とても楽しそうな仕事だと感じました。「迷ったら、やってみる」という先生の言葉が印象的でした。